

第129回愛知学院大学モーニングセミナー

「ノーベル賞授賞式の舞台裏」

～受賞者の素顔、熾烈な報道競争～

中日新聞社会部
今村太郎



2016年12月13日

【経歴】

- 1999年 中日新聞社入社（編集局整理部配属）
- 2000年 岡崎支局
- 2003年 岐阜支社報道部
- 2006年 編集局社会部（主に事件担当）
- 2011年 上海支局
- 2014年 編集局社会部（教育担当）



名古屋大学を中心に科学技術など取材
青色発光ダイオードで

- 赤崎 勇（名城大終身教授）
- 天野 浩（名古屋大大学院教授）
- 中村修二（カリフォルニア大教授）

の3氏がノーベル物理学賞を受賞

- 2015年 中日労働組合書記長
- 2016年 編集局社会部（県政担当）

ノーベル賞って？

ダイナマイトの発明者であるアルフレッド・ノーベルの遺言と遺産で創設された。ノーベル財団が運営しており、1901年から毎年、物理、化学、医学・生理学、平和、文学の五部門で贈られていた。1969年からはスウェーデン銀行の資金で経済学賞も贈られるようになった。

世界最高水準の研究者、文学者、活動家であるという名誉に加えて、800万クローナ（約9500万円）の賞金も！



【歴代日本人受賞者】

- 1949年 湯川秀樹（物理学賞）
- 1965年 朝永振一郎（物理学賞）
- 1968年 川端康成（文学賞）
- 1973年 江崎玲於奈（物理学賞）
- 1974年 佐藤栄作（平和賞）
- 1981年 福井謙一（化学賞）
- 1987年 利根川進（医学・生理学賞）
- 1994年 大江健三郎（文学賞）
- 2000年 白川英樹（化学賞）
- 2001年 野依良治（化学賞）
- 2002年 田中耕一（化学賞）、小柴昌俊（物理学賞）
- 2008年 小林誠, 益川敏英, 南部陽一郎（物理学賞）, 下村脩（化学賞）
- 2010年 鈴木章, 根岸栄一（化学賞）
- 2012年 山中伸弥（医学・生理学賞）
- 2014年 赤崎勇, 天野浩, 中村修二（物理学賞）
- 2015年 梶田隆章（物理学賞）, 大村智（医学・生理学賞）
- 2016年 大隅良典（医学・生理学賞）

★ 国別受賞者数（ノーベル財団HPより）

1位	アメリカ	338人
2位	イギリス	115人
3位	ドイツ	82人
4位	フランス	59人
5位	スウェーデン	32人
6位	スイス	27人
7位	日本	25人

物理 11人、 化学7人
医学・生理学 4人
文学 2人、平和 1人

26位 中国

3人

- 2010年 劉曉波（平和賞）
- 2012年 莫言（文学賞）
- 2015年 屠呦呦（医学・生理学賞）

大隅氏 ノーベル賞

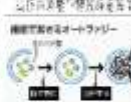
中日新聞

細胞の「自



ノーベル賞を受賞した大隅元也博士の笑顔。

【ノーベル賞】大隅元也博士がノーベル賞を受賞した。細胞の「自己食害」のメカニズムを明らかにした。大隅博士は、細胞が自らを消化する「オートファジー」のメカニズムを明らかにした。この発見は、がんや神経変性疾患のメカニズムを解明する上で重要な役割を果たしている。



「誰もやらぬことを結実」
大隅博士は、誰もやらぬことを結実して、ノーベル賞を受賞した。彼の研究は、細胞の「自己食害」のメカニズムを明らかにし、がんや神経変性疾患のメカニズムを解明する上で重要な役割を果たしている。

大隅博士の受賞は、日本の科学界に大きな光栄をもたらした。彼の研究は、細胞の「自己食害」のメカニズムを明らかにし、がんや神経変性疾患のメカニズムを解明する上で重要な役割を果たしている。

大隅博士の受賞は、日本の科学界に大きな光栄をもたらした。彼の研究は、細胞の「自己食害」のメカニズムを明らかにし、がんや神経変性疾患のメカニズムを解明する上で重要な役割を果たしている。

大隅博士の受賞は、日本の科学界に大きな光栄をもたらした。彼の研究は、細胞の「自己食害」のメカニズムを明らかにし、がんや神経変性疾患のメカニズムを解明する上で重要な役割を果たしている。

大隅博士の受賞は、日本の科学界に大きな光栄をもたらした。彼の研究は、細胞の「自己食害」のメカニズムを明らかにし、がんや神経変性疾患のメカニズムを解明する上で重要な役割を果たしている。

大隅博士の受賞は、日本の科学界に大きな光栄をもたらした。彼の研究は、細胞の「自己食害」のメカニズムを明らかにし、がんや神経変性疾患のメカニズムを解明する上で重要な役割を果たしている。

大隅博士の受賞は、日本の科学界に大きな光栄をもたらした。彼の研究は、細胞の「自己食害」のメカニズムを明らかにし、がんや神経変性疾患のメカニズムを解明する上で重要な役割を果たしている。

大隅博士の受賞は、日本の科学界に大きな光栄をもたらした。彼の研究は、細胞の「自己食害」のメカニズムを明らかにし、がんや神経変性疾患のメカニズムを解明する上で重要な役割を果たしている。

へそ曲がりの挑戦



「へそ曲がり」の挑戦。大隅さんノーベル賞受賞を機に、健康増進を目的としたプロジェクトが立ち上がった。このプロジェクトは、国民の健康増進を目的として立ち上げられた。大隅博士の受賞を機に、国民の健康増進を目的としたプロジェクトが立ち上がった。

「へそ曲がり」の挑戦。大隅さんノーベル賞受賞を機に、健康増進を目的としたプロジェクトが立ち上がった。このプロジェクトは、国民の健康増進を目的として立ち上げられた。大隅博士の受賞を機に、国民の健康増進を目的としたプロジェクトが立ち上がった。

「へそ曲がり」の挑戦。大隅さんノーベル賞受賞を機に、健康増進を目的としたプロジェクトが立ち上がった。このプロジェクトは、国民の健康増進を目的として立ち上げられた。大隅博士の受賞を機に、国民の健康増進を目的としたプロジェクトが立ち上がった。

「へそ曲がり」の挑戦。大隅さんノーベル賞受賞を機に、健康増進を目的としたプロジェクトが立ち上がった。このプロジェクトは、国民の健康増進を目的として立ち上げられた。大隅博士の受賞を機に、国民の健康増進を目的としたプロジェクトが立ち上がった。

岡崎で生まれ花開く



岡崎で生まれ花開く。純粋科学の面白さ追究。岡崎生まれの科学者が、純粋科学の面白さを追究している。この科学者は、岡崎生まれで、純粋科学の面白さを追究している。

岡崎で生まれ花開く。純粋科学の面白さ追究。岡崎生まれの科学者が、純粋科学の面白さを追究している。この科学者は、岡崎生まれで、純粋科学の面白さを追究している。

岡崎で生まれ花開く。純粋科学の面白さ追究。岡崎生まれの科学者が、純粋科学の面白さを追究している。この科学者は、岡崎生まれで、純粋科学の面白さを追究している。

岡崎で生まれ花開く。純粋科学の面白さ追究。岡崎生まれの科学者が、純粋科学の面白さを追究している。この科学者は、岡崎生まれで、純粋科学の面白さを追究している。

岡崎で生まれ花開く。純粋科学の面白さ追究。岡崎生まれの科学者が、純粋科学の面白さを追究している。この科学者は、岡崎生まれで、純粋科学の面白さを追究している。

「兄は絶対やっつけない」



「兄は絶対やっつけない」。奥内亮貴の経歴を語る。奥内亮貴の経歴を語る。奥内亮貴は、兄を絶対やっつけないと決意している。

「兄は絶対やっつけない」。奥内亮貴の経歴を語る。奥内亮貴の経歴を語る。奥内亮貴は、兄を絶対やっつけないと決意している。

「兄は絶対やっつけない」。奥内亮貴の経歴を語る。奥内亮貴の経歴を語る。奥内亮貴は、兄を絶対やっつけないと決意している。

「兄は絶対やっつけない」。奥内亮貴の経歴を語る。奥内亮貴の経歴を語る。奥内亮貴は、兄を絶対やっつけないと決意している。

「兄は絶対やっつけない」。奥内亮貴の経歴を語る。奥内亮貴の経歴を語る。奥内亮貴は、兄を絶対やっつけないと決意している。

丸茂病院
健康長寿
腰痛シビレが治る
腎機能強化
脳梗塞 脳出血
安眠薬

本日開催
火曜特集
2倍テ

買取
0120-682-007

がん免疫細胞療法セミナー
0120-51-2251

国民年金基金
0120-43-0373

なぜ、日本でノーベル賞は「大ニュース」に？

赤崎勇さん「湯川秀樹先生がノーベル物理学賞を受賞されるという快挙があり、ノーベル賞という言葉すら忘れかけていた、戦後復興途上の日本の国内が明るくなったような気がしました」



占領下にあり、敗戦にうちひしがれていた日本人に希望をもたらした。「日本人であることに、もう一度誇りを持てる」。



現在も、日本メディアは「日本人受賞」を破格の扱いで報じる。暗いニュースが多い中で、文句なしの「ハッピーニュース」の位置づけ。それゆえ、授賞式でも、受賞者の素顔に迫ろうと、取材合戦は加熱する。読者も、研究者の「素顔」を知りたいと期待する。

2014年ノーベル物理学賞

赤崎勇、天野浩、中村修二

青色発光ダイオード（LED）の発明

【受賞理由】

光は悪を滅ぼす力に使われる。人類の祖先は三十万年前に火を使い、闇を照らした。十九世紀後半、米国のエジソンが白熱電球を発明した。彼は二千回の実験に失敗したが「白熱電球を作れない二千通りの方法を見つけた」と言った。

第二次世界大戦後、発光ダイオード（LED）が作られた。電球はフィラメントの熱で光るが、LEDは電気を直接光に変える。最初のLEDは赤で、間もなく緑ができた。赤と緑、青を組み合わせると白い光が得られる。一九六〇年代から産業界や大学は青を作ろうと努力したが、作製に必要な窒化ガリウムの結晶は作れなかった。難しすぎたのだ。

赤崎勇氏、天野浩氏、中村修二氏は、世界中が断念する中、多大な忍耐と少しの幸運で窒化ガリウムの結晶を得た。彼らは二千回以上実験し、ついに成功した。

LEDの白い光は、いまやどこにでもある。節電で環境にも優しい。太陽光の充電で光り、電力網のない地域でも闇を照らし出せる。

ノーベルの遺言は、人類に多大な利益をもたらした者に物理学賞を贈るとした。今年ノーベルの遺志を完全に満たしている。

**「途上国15億人に夜の明かりをもたらした」
とされる**

受賞が決まった瞬間から、激しい取材合戦が始まる

■ 対談、鼎談

2014年11月19日 (水曜日) 中日新聞 朝刊 104ページ

産経前支局長を在宅起訴
 韓国大統領の名義偽造

不屈師弟 息びたり
 天野さん「ゴッ緒しちゃって」 赤崎さん「それが一番うれしい」

ノーベル賞 電話対談
 天野さん「今後も世界に貢献」

天野さん「ゴッ緒しちゃって」
 赤崎さん「それが一番うれしい」

天野さん「今後も世界に貢献」

天野さん長女
 天野さんも泣いてはなかった

天野さん長女
 天野さんも泣いてはなかった

天野さん長女
 天野さんも泣いてはなかった

在宅介護・看護のための整活活用講演会

古銭・切手 高価買取ります

活命茶

もぎたて 情報便

無料1ヶ月

71歳桂文枝

日本で一番「芽えてる」DH&DHAを語る

2014年11月19日 (水曜日) 中日新聞 朝刊 104ページ

青い光できると信じ

これこそ私の仕事だと

社会貢献若い人に期待

天野さん「ゴッ緒しちゃって」

赤崎さん「それが一番うれしい」

天野さん「今後も世界に貢献」

天野さん長女

天野さんも泣いてはなかった

在宅介護・看護のための整活活用講演会

古銭・切手 高価買取ります

活命茶

もぎたて 情報便

無料1ヶ月

71歳桂文枝

日本で一番「芽えてる」DH&DHAを語る

■ 「グランドホテル」の部屋争奪戦

受賞者が宿泊する宿。受賞者への「ぶら下がり取材」はホテルエントランスで行われるほか、大学関係者も宿泊。在スウェーデン日本大使館による受賞者記者会見も、グランドホテルで行われる。



足場の良い取材拠点が、現地取材を左右する



【「ノーベルウィーク」期間中の行事】

◎「Get Together」 ➡ 各賞の受賞者がノーベル博物館に集合。
顔合わせを兼ねたパーティーが行われる。



ノーベル博物館

カフェいすへのサイン ➡

ノーベルチョコレート



★ノーベルコンサート → 授賞式も開かれるコンサートホールで、地元管弦楽団の歓迎を受ける。



★ノーベルレクチャー → 受賞理由となった功績を、受賞者自らが市民に向けて講義。ストックホルム大学で開催。



「2人の論文参考に」

中村さん共同受賞を語る

【ストックホルム】今村太郎（ノーベル物理学賞を赤崎勇・名城大教授（まじ）大野浩・名古屋大教授（まじ）とともに共同受賞する中村修二・カリフォルニア大学サンタバーバラ校教授（まじ）が七日午前（日本時間同日午後）、スウェーデン・ストックホルムで本紙の単独取材に応じた。ライバル関係にあった赤崎さんら二人に学び、自身の研究を進めたことを率直に語った。

師弟関係の赤崎さんと天野さんは一九八九年、窒化ガリウムの結晶による青色発光ダイオード（LED）を実現した。同年から研究を本格化させた中村さんは自らを「後発」としながらも、九一年に世界で最も明るい青色LEDの量産化技術を確立した後は「私が一



7日、ストックホルム市内で、赤崎さん、天野さんとの共同受賞について語る中村修二さん（右）と石川保典撮影

果」と認めた。

中村さんは日亜化学工業（徳島県阿南市）に勤務していた当時、窒化ガリウムの結晶化装置を手作りした。天野さんが名大大学院に在籍中、同様に装置を手作りしたことについて「手作りすれば誰もまねできず、世界一になれる。天野さんは優れた研究者とたたえ、装置を作った時、二人の論文を参考にした」とも語った。「スポーツに例えれば競い合って、最後に三人で優勝できた。とても光栄」と喜びを語る中村さん。受賞決定後、三人が一堂に会す



る機会はなく、七日夜（本時間八日未明）に開かるスウェーデン王立科学アカデミー主催の夕食会で顔をそろえる。中村さんは「まず「おめでとうさいます」と声をかけ」と話した。

個別取材のアポ取り

現地では、個人的な信頼関係に基づく「1対1」の独占取材や、ノーベル財団が仲介をする個別取材ができるか、どうかは他社との差別化となる。

紙面は、中村修二氏を独占取材した際の紙面。長年、ライバル関係にあった赤崎、天野両氏の論文を参考にしたことを打ち明け、反響を呼んだ。

■何より重要な「授賞式の子ケット」争奪

★日本メディア向けは
たったの「5席」！



日本で5社、5人
しか生で見れない

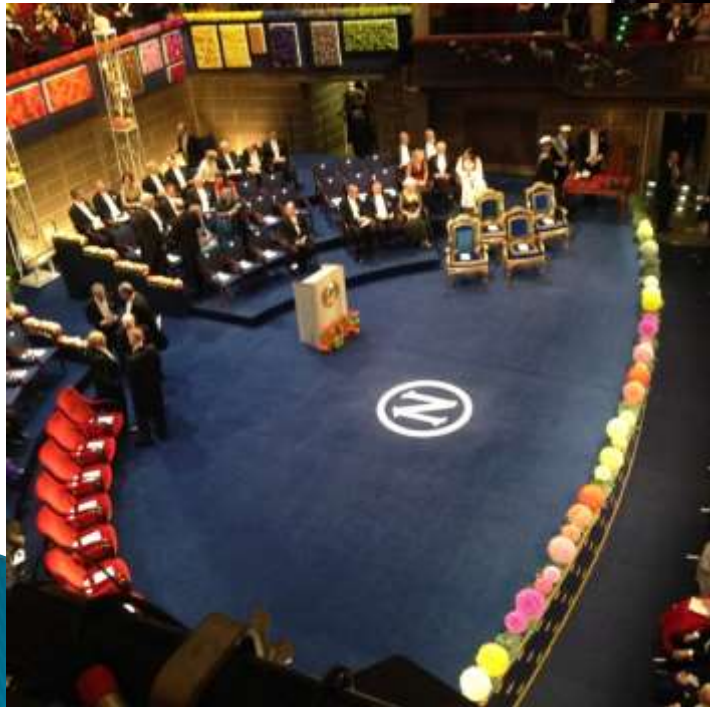
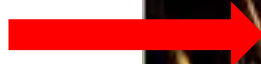
★入れないと、受賞者
の表情は見れない

★この子ケットが
「熾烈な争奪戦」となる



★「記者席」は特等席！

このあたり



記者席からの眺め

真下には受賞者が



37 2014年12月11日

世界の闇照らす光

「私は教育を奪われた600万人の少女です」

マラフさん 仲間と出逢

「研究、人類に貢献を」

ノーベルの遺志 完全に果たした



「研究、人類に貢献を」

「私は教育を奪われた600万人の少女です」

マラフさん 仲間と出逢

「研究、人類に貢献を」

ノーベルの遺志 完全に果たした

贈賄側に求刑 懲役4年6月

借金苦で贈賄反省

お遍路の旅 説明会 参加者募集

2015年1/10(土) 説明会

皮膚を引っ張る 一目でわかる

www.seifu-institute.jp

原典再稼働にはNO!

選挙は5%に

社民党

【抜粋】

受賞者のトップを切って赤崎さんが、色鮮やかな花々で飾られたステージ中央に、つえを席に置いて確かな足取りで歩み出た。

一九七三年に窒化ガリウムによる青色LED実現をライフワークと定めてから四十年以上。赤崎さんは体調に不安があり、受賞決定後は名城大関係者に「ストックホルムには行かない方がいい」と弱音をこぼしたこともあった。カール十六世グスタフ国王と固く握手し、賞状とメダルを授与されると、国王や正面、客席に向かって何度も深くおじぎをした。席に戻ると、メダルの入った箱を手で包み込み、何度もなでた。

受賞決定後、おおらかな笑顔を振りまき、「授賞式で転ばないようにしないと」と冗談を飛ばしていた天野さんも、眉間にしわを寄せて硬い表情。受け取ったメダルを胸の前で大切そうに抱えた。

11 2014年12月11日(木) 中日新聞 夕刊

家族の笑顔も輝き

ノーベル賞3氏 感謝と興奮の夜



「ノーベル賞受賞者とその家族の笑顔が、会場を暖めた。受賞者たちは、家族とともに喜びを分かち合っている。この瞬間は、彼らにとって特別な思い出となるだろう。」

授賞式に出席した受賞者たちは、式後、ステージに上がり、受賞者や家族の直接取材が可能！

祝福のたいまつ行進 再度も加入

ノーベル賞メダル返します

国内最古級埋葬人骨か

今夜は60歳以上入場無料!! おじいちゃん、おばあちゃんから




授賞式に入場できた記者は、式後、ステージに上がり受賞者や家族の直接取材が可能！



詳細な描写ができ、他紙と差別化

ステージ上で重い受賞メダルを手にした時、真っ先に客席の家族を見つめた。十日夕（日本時間十一日未明）のノーベル賞授賞式に出席した赤崎勇・名城大教授（85）と天野浩・名古屋大教授（54）、中村修二カリフォルニア大サンタバーバラ校教授（60）。三人とその家族には、苦しかった研究の分だけ、忘れることができない夢のような一夜となった。

普段は表情をあまり変えない赤崎さんの顔が、みるみる紅潮した。授賞式後、色とりどりの花で飾られた壇上で家族に囲まれ、メダルを手に記念撮影を繰り返した。受賞の感想を問われた赤崎さんは「長い道のりでした」とぽつり。その後は、言葉が続かなかった。傍らには、体調の安定しない赤崎さんを考え抜いた食事メニューで支え続けた妻、陵子さん（81）がそっと寄り添った。口元に笑みを浮かべながら、興奮する赤崎さんを静かに、うれしそうに見つめた。

授賞式を「相当に緊張しました」と笑顔で振り返った天野さんは、ステージ中央でメダルを受け取って客席に一礼する際、「家内の顔が見えた」という。前から二列目に陣取っていた妻の香寿美さん（54）は「えんぴ服がとても似合っていて、ほれ直しました」と天野さん以上に興奮した様子。八日の記念講演の最後、家族全員の名前をスライドに映して「感謝している」と述べた天野さん。満面の笑みで家族写真に納まった。

中村さんも授賞式後、家族をステージ上に呼んで、喜びを分かち合った。インタビューや記者会見などでも厳しい表情を崩すことのない中村さんだが、家族の祝福を受けて表情を緩めた。授賞式については「無事に終わった。明日から仕事です」と最後まで個性的な言い回しを貫いた。

【名古屋関連の「候補者」たち】

■ 飯島澄男（物理学賞、化学賞）

鋼鉄の何十倍もの強度を持つ炭素素材「カーボンナノチューブ」を発見。宇宙へと上る「宇宙エレベーター」の素材として期待されている。名城大教授。

■ 山本尚（化学賞）

野依良治氏と同じく「有機化学」の権威。今年、野依氏に続いて日本人2人目となる有機化学で最も権威のある米国の「ロジャー・アダム賞」を受賞。中部大教授。

■ 細野秀雄（物理学賞）

日本で最も有名な素材科学者。半導体が専門で、スマホに使われる「IGZO（イグゾー）」半導体などで知られる。東京工業大教授だが、名工大で長く助手をし、研究の基礎を築く。